

震災体験学習申し込み用紙

※直接ご記入しにくい場合はコピーしてお使い下さい。 申込日： 年 月 日

申込者情報			
※該当する箇所をご記入ください。			
フリガナ		フリガナ	
学校名		旅行会社名	
フリガナ		フリガナ	
担当教諭名		担当者名	
所在地	〒 -	所在地	〒 -
電話番号		電話番号	
FAX		FAX	
E-mail		E-mail	

希望内容			
希望日	年 月 日 曜日		
希望形式	☐ ふたば学舎へ訪問 ☐ 出前講座		
希望時間	※9:00～17:00 の間でご記入ください。 ： ～ ：		
昼食	☐ 炊き出し ☐ なし ☐ その他（ ） ※時間帯により炊き出しができない場合があります。		
学年・人数	年生 クラス 人／先生 人		
来訪手段	☐ 電車 ☐ バス 台 ※ふたば学舎へ訪問する場合のみご記入ください。		
学習目的	震災学習を通して、生徒・参加者に学んで欲しいことは何ですか？ ※また、希望する具体的な内容があればご記入ください（中面・左下のメニュー参照）。		
事前学習	阪神・淡路大震災について事前学習を行いますか？ ☐ はい ☐ いいえ ※「はい」の場合はその内容を教えてください。		
その他	上記以外にご希望などがあればご記入ください。		

震災の記憶を未来の防災・減災につなげる

震災体験学習

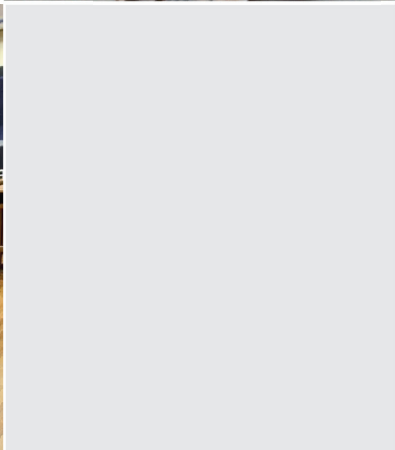
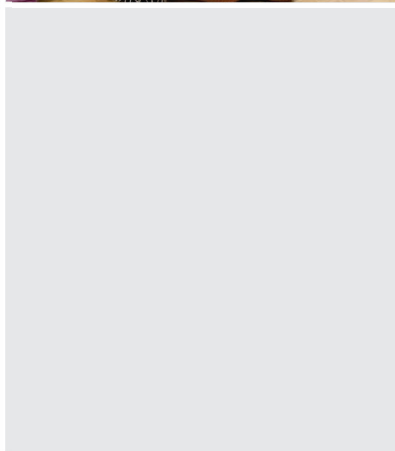
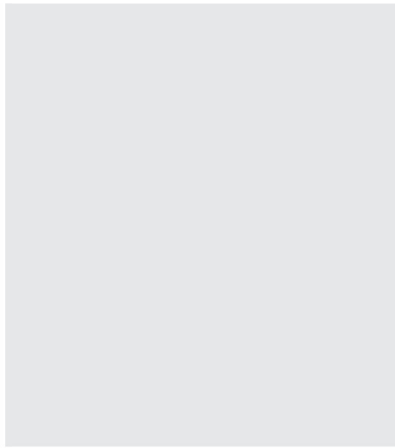
プログラム案内

ふたば学舎 (旧二葉小学校)

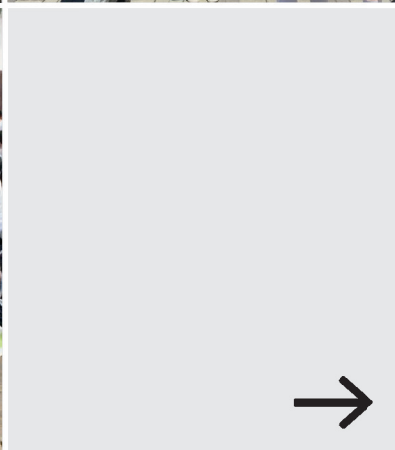
震災に負けない生きる力を身につける



ふたば学舎
指定管理者 NPO 法人ふたば
〒653-0042
神戸市長田区二葉町7丁目1番18号
TEL：078-646-8128 FAX：078-646-8138
E-Mail：taiken@futabasyo.jp



1995.1.17
阪神・淡路大震災



「自分事」としての震災体験学習



1995 年 1 月 17 日に阪神・淡路大震災が起き、神戸市長田区南西部に位置する二葉小学校は多くの被災者を受け入れる避難所となりました。

その二葉小学校を前身とする「ふたば学舎」では、周辺被災地の記憶を中心に、阪神・淡路大震災の記憶と教訓を次世代に伝えるための震災体験学習を実施しています。

参加者が震災被災者の想いや経験を「自分事」として捉え、未来の震災への備えにつなげられるよう、避難所体験や語り部体験談など複数のメニューを組み合わせた体感型プログラムを提供いたします。

震災体験学習プログラムの対象

校外学習や修学旅行生、職員研修や大学生、一般の観光旅行者

＊15 人から 290 人までの受け付けが可能です。その他の人数についてはお問い合わせ下さい。

＊講習費の詳細は右ページ上部の「基本料金」をご覧ください。

震災体験学習プログラムの内容・メニュー一覧

ご希望に基づいて以下のメニューを組み合わせたプログラムを実施いたします。 ※出前講座も承ります。

1. 阪神・淡路大震災スライド学習（所要時間：10 分～20 分）
2. 避難所体験（50 分～90 分）
3. 元小学校教育復興担当教員による講演（20 分～60 分）
4. 震災語り部体験談（15 分～60 分）

〔被災体験談、避難所運営の体験談、消防活動の体験談、復興まちづくりの体験談〕

5. 被災地のまち歩き（40 分～90 分）
6. 炊き出し体験（30 分～60 分、炊き出し調理体験の場合はおよそ 120 分）

7. ポリ袋で災害食体験（およそ 90 分）
8. 紙食器づくり（およそ 15 分）
9. 新聞紙スリッパづくり（およそ 15 分）
10. 缶コンロづくり（およそ 30 分）
11. 防災・減災ゲーム（20 分～60 分）

〔クロスロード、ぼうさいダック、防災クイズラリー、DIG（Disaster Imagination Game）〕

12. 災害現場の知恵学習（30 分～60 分）

〔ロープの結び方、簡易担架の作り方、応急手当の仕方など〕

＊メニューは今後も追加予定です。



基本料金

（9 時～17 時の間）

1 日コース
（2 時間以上）
3,000 円

短縮コース
（2 時間未満）
2,000 円

＊料金はすべて税込みです。
＊料金はすべて 1 人あたりのものです。
＊炊き出し体験は材料費が別途必要です。
（1 人 400 円程度）
＊その他ご要望応相談。

お申し込みから実施日までの流れ

●お申し込みから実施までの流れは基本的には以下ようになります。

空き状況の確認

お電話で空き状況をご確認ください（希望者多数の場合、申し込み受付は先着順）。

申し込み用紙の送付

裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX もしくは E メールでお送りください。

プログラム案の作成

申し込み内容にもとづいて作成した学習プログラム案を提示いたします。

プログラムの調整と確定

実施までにお電話等で打合せを行い、内容を確定いたします。下見にも対応いたします。

震災体験学習の実施

相互の緊急連絡先など連絡体制を確認した上で、当日震災体験学習を実施いたします。

事例紹介

●震災体験学習プログラムの一例を紹介します。

※例は中学生を対象としたものですが、様々な年齢層を対象とした幅広いプログラムも提供いたします。まずはお問い合わせください。

〇〇市立△△中学校様 震災体験学習プログラム			
◆目的 〇阪神・淡路大震災の記憶と復興経験者の想いを聴くことにより、また、避難所作りの大切さなどを知り、被災者に対する思いや理解を深める。震災を知らない子どもたちが被災者を身近に感じ、災害時に活用できる知識を学ぶ。			
◆日時：20 年度 毎月 1 日（土）10:45～16:30 ◆場所：ふたば学舎 3 階 講堂 ◆対象：△△中学校 1 年生 180 名			
◆プログラム（予定）：阪神・淡路大震災の記憶（10:45～11:00）・被災者の想い（11:00～11:15）・避難所作りの大切さ（11:15～11:30）・復興経験者の想い（11:30～11:45）・被災者の想い（11:45～12:00）・被災者の想い（12:00～12:15）・被災者の想い（12:15～12:30）・被災者の想い（12:30～12:45）・被災者の想い（12:45～13:00）・被災者の想い（13:00～13:15）・被災者の想い（13:15～13:30）・被災者の想い（13:30～13:45）・被災者の想い（13:45～14:00）・被災者の想い（14:00～14:15）・被災者の想い（14:15～14:30）・被災者の想い（14:30～14:45）・被災者の想い（14:45～15:00）・被災者の想い（15:00～15:15）・被災者の想い（15:15～15:30）・被災者の想い（15:30～15:45）・被災者の想い（15:45～16:00）・被災者の想い（16:00～16:15）・被災者の想い（16:15～16:30）			
10:35 (10 分)	●△△中学校 1 年生（大型バス 6 名） ※避難所作りの大切さを学ぶ（ふたばスタッフの案内） ※被災者の想いを学ぶ（ふたばスタッフの案内） ※被災者の想いを学ぶ（ふたばスタッフの案内）	被災経験者による 講話等による 学びの場	
10:45 (5 分)	●オリエンテーション・講義：被災地 〇被災地 〇被災地	被災経験者による 講話等による 学びの場	
10:50 (15 分)	（1）阪神、スライドによる学習 〇阪神・淡路大震災、特に長田区の被災状況について （説明：ふたば学舎・〇〇） ※長田区の被災に焦点を当てた学習（4 分）含む	PC、プロジェクタ へ、マイク	
11:05 (50 分)	（2）避難所体験 〇「大震災に遭った被災者に避難所体験した人だ」という想定のもと、避難所作りを体験。その中で被災者の想いを学び、自分たちの生活環境の改善を考える ・4 名学級の 45 名グループに分かれて活動 （グループで活動しながら、今後の活動の方向性を決める） ・避難所作りに関する質問を聞き、共有する	・避難所	
12:05 (15 分)	（3）語り部体験 〇阪神・淡路大震災の被災者に被災し、避難所作りを体験した方から体験談を聞くこと、被災者に対する思いや理解を学ぶ		

12:20 (15 分)	●被災者の想いを学ぶ（ふたばスタッフの案内） ※被災者の想いを学ぶ（ふたばスタッフの案内） ※被災者の想いを学ぶ（ふたばスタッフの案内）	被災経験者による 講話等による 学びの場	
12:35 (20 分)	（4）紙食器づくり体験 〇災害時に食料が不足し、水が不足する状況下でも食料が可能な紙食器づくりを学ぶ	・紙食器にできる ビンゴ	
12:55 (55 分)	（5）炊き出し体験・食糧 ※炊き出し体験の準備 ※炊き出し体験の準備 ※炊き出し体験の準備	・3 階	
14:00 (90 分)	（6）避難所作りの被災者の想い～被災地体験～ 〇ガイド 8 名 ※クラス毎に各ガイドの案内 ・阪神・淡路大震災から避難所作りの被災者の想いを自分の目で見る ・被災者の被災地のまち歩き、同じ被災地から被災者の想いを被災地の被災者の想いと共有することで、被災者の想いを体験する	・被災地体験	
15:30 (5 分)	●トイレ体験		
15:35 (45 分)	（7）復興経験者の知恵学習 ※被災地・復興経験者の知恵学習 〇被災者の被災地のまち歩き、同じ被災地から被災者の想いを被災地の被災者の想いと共有することで、被災者の想いを体験する	・ロープ	
16:20 (10 分)	●お別れのあいさつ 〇お別れのあいさつ	16:30 プログラム終了	バス乗降場へ

子どもたちの感想

ふたば学舎の震災体験学習に参加し、震災について学んだ子どもたちの声を紹介します。

★避難所体験では限られたスペースの中で何日間も過ごすということや、水や食糧などの生きていくのに必要なものが足りなくなること、震災によって当たり前のことが当たり前でなくなるということを知ることができました。（中学2年生）
★阪神淡路大震災のことをお話し下さってありがとうございました。写真を見せてもらってすごく分かりやすかったです。それと、いつでもホイッスルや懐中電灯を持っておこうと思いました。（小学6年生）
★今日学んだことをふだんの生活に生かしていこうと思います。（中学2年生）

お問い合わせ・お申し込み先

ふたば学舎

指定管理者 NPO 法人ふたば（震災学習担当者まで）

TEL：078-646-8128 FAX：078-646-8138

E-Mail：taiken@futabasyo.jp HP：http://futabasyo.jp/

■開館日：9 時～21 時（日・祝日は 9 時～17 時）

■休館日：月曜（国民の祝日にあたる場合はその翌日）

■最寄りの交通機関

○JR 神戸線・市営地下鉄西神山手線・市営地下鉄海岸線

新長田駅から徒歩 13 分

○市営地下鉄海岸線 駒ヶ林駅から徒歩 6 分

